



# ふるさと上越ネットワークたより

編集・発行 ふるさと上越ネットワーク事務局

〒101-0064 東京都千代田区神田猿楽町2-1-2

TEL.03-5244-5138 FAX.03-3294-6106

●本庁担当

上越市 総合政策部 総合政策課 ふるさと応援室

〒943-8601 新潟県上越市木田1-1-3

TEL.025-520-5625

ホームページ▶

ふるさと上越



撮影：松本栄規さん

## 「たより」No.297 目次

ふるさと上越ネットワーク（Jネット）ホームページでは、  
「たより」を全ページフルカラーでご覧いただけます。

|                             |      |                              |   |
|-----------------------------|------|------------------------------|---|
| 会員数と「ふるさと市場」販売報告 .....      | 1    | スーパーシニア音楽団「楽悠」定期演奏会《お礼》 土田正栄 |   |
| Jネットの活動とお知らせ .....          | 2    | 俳句ひろば .....                  | 6 |
| 東京サロン・勉強会開催報告               |      | 上越タイムス・上越ケーブルビジョン .....      | 7 |
| 令和6年度定時総会・講演会・懇親会開催報告       |      | アクセス方法のご案内                   |   |
| とれたて上越 .....                | 4    | 瀧川鯉橋師匠 高座予定 .....            | 7 |
| 祈りの心像 柴田長俊展（～R6.6.23）       |      | 上越產品のお知らせ .....              | 7 |
| 第45回高田城址公園観蓮会（R6.7.13～8.25） |      | 上越市からのお知らせ .....             | 8 |
| 上越のカフェ .....                | 4    | ふるさと応援室のご紹介                  |   |
| スイミー 古本と日本酒の店               |      | ふるさと納税ポータルサイトご案内             |   |
| 会員ひろば .....                 | 5    | Jネットからのお知らせとお願い .....        | 8 |
| スポーツについての豆知識                | 瀧澤康二 |                              |   |

## 会員数と「ふるさと市場」販売報告

（1）会員は562名（令和6年5月31日現在）

（2）「ふるさと市場」の販売取次状況（令和6年4-5月） 209点 275,566円 ※前年同月 114点 222,537円

### ◆ 5月9日(木)湯島にてサロン開催

久しぶりに湯島のサロンに参加した。

初参加の昨春秋、道にまよってウロウロしたが、今回は千代田線湯島駅から迷うことなくついた。

部屋に入ると皆さんが集まっていた。前回お会いした浜野さんの顔が見えなかったが祖父江さんや他の女性の方がいたので一安心。テーブルの上には日本酒、ワイン等の飲物と魚住かまぼこ店さんのかまぼこ等のおつまみも。昨年総会時に出会った、高田の同じ町内出身の土田さんにふたたび会い、お互い元気に生きていきましょうと話をした。又、常連の朝倉さんが「毎月一回、ここに来た方がいいよ。」と教えてくれた。

サロンの中は、ふるさとの言葉がきかれる。雪のこと、桜の花のこと等、ふるさとの情景を話してもわかってもらえる人達がいることがうれしい気持ちにもなる。

大好きなふるさとを忘れない為にも自分のボケ防止の為にもサロンに参加したいと思う。(中村千栄子 記)



5/9ご参加のみなさん

参加は21名。来月はまた30名に復活させたいです。お待ちしています。差し入れは、松本さんから鮎正宗/濁り酒さくらいろ、岩の原スパークリングワイン善、有り難うございました。(事務局より)

【次回以降のサロン】 毎月第2木曜日開催 参加費1,500円(予約不要・途中からのご参加もOKです。)

◆ 6月13日(木) ◆ 7月11日(木) 開催時間 17:30～19:00

会場:東京新潟県人会館「ふれあいふるさと館」〒110-0005 東京都台東区上野1-13-6 TEL:03-3832-7619

お問合せやご参加は、事務局(宮里) Mail: k.miyazato@araip.co.jp TEL:03-5244-5138までお願いします。

### ◆ 第52回 Jネット勉強会 前島密翁墓前祭に参列 報告

翁の祥月命日の4月27日(土)に墓前祭が執り行われ、300余名の参列者が集まりました。

上越市からは中川市長をはじめ24名の方々が、Jネットからは小坂会長はじめ11名が参列しました。主催者のご挨拶の後、中川市長が「ゆうびんの父」の著者門井慶喜さんの講演会や翁に関係する企画を披露され、また翁を顕彰する会(上越市)の滝沢一成会長からは翁の数々の業績が紹介されました。

墓前祭終了後は、遠藤会員の馴染みのお店に移動して、三浦半島で取れた美味しい新鮮な魚をいただきました。故郷の昔話に花が咲き、2時間があっという間に過ぎてゆきました。(溝口良二 記)



浄楽寺本堂前で参列者記念撮影



4/27(土)参加のみなさん

### ◆ 第53回 Jネット勉強会 味の素ナショナルトレーニングセンター見学の報告

風香る5月11日(土)の勉強会はトップアスリートのトレーニング施設の見学で、小坂会長はじめ14名が参加しました。競技施設や実際の練習の見学に加え、ボルト選手の走る速さやバレーボール選手/高跳び選手のジャンプの高さを体感できる展示もあり、またボッチャ競技の体験、さらには競技器具に触れることもでき、とても有意義な体験でした。

施設見学後は近くのファミレスで懇親会をして解散しました。

今回の勉強会にアドバイスを頂き、さらに同行頂いた会員の瀧澤康二さんからは当日参加者に、スポーツに関するたいへん興味深い内容のレポートが配布されました。「会員ひろば」今月号に掲載されていますのでお読み下さい。(溝口良二 記)



5/11(土)参加のみなさん



## ◆第54回Jネット勉強会 朝ドラの「虎に翼」展示会等の見学

今回は、現在放映中の朝ドラ「虎に翼」の展示会等を見学します。戦前の男性社会の法曹界に足を踏み入れた女性たちの奮闘の歴史が展示されています。また、同じフロアにある阿久悠記念館と明治大学博物館を見学いたします。(詳細は別紙を参照)

日 時：令和6年7月11日(木) 集合時間：13時 集合場所：御茶ノ水駅西口(新宿寄り)改札外  
展示会場：明治大学博物館アカデミーコモン 地下1階(展示場はすべて無料です。)

希望者は7月8日(月)迄に事務局へご連絡下さい。

TEL：03-5244-5138 Mail：k.miyazato@araip.co.jp

※当日は明大食堂「スカイラウンジ暁」でランチを取ります。

## ◆令和6年度 定時総会・講演会・懇親会 開催

令和6年度定時総会は、5月25日(土)、アルカディア市ヶ谷で開催しました。中川幹太上越市長はじめ新設の総合政策課ふるさと応援室大谷健一郎室長、同室吉村修係長、さらには賛助特別会員の上越ケーブルビジョン齋藤俊幸社長、上越タイムス社市村雅幸常務、肝太の池田勝重代表が出席され、総勢60名の参加でした。



中川幹太市長よりご祝辞をいただきました



小坂会長



祖父江義明先生

中川市長からは、ふるさと応援室の役割及び首都圏に設けるコワーキング・スペースの機能の紹介があり、共にJネットと直結する話題をいただきました。

このあと会長から、昨年度は新規会員を増やすこと及び活動をより活発にすることに注力したとの報告があったのち、議案審議に入り全ての議案が承認されました。

総会後には、大谷室長よりふるさと応援室のご紹介があり(P8ご参照)首都圏における魅力発信や企業・団体とのネットワークの強化など活動的な取組への力強いメッセージをいただきました。

講演会では、【天文よもやま話】「私たちの銀河系は爆発したか！」と題し、祖父江義明先生(東京大学名誉教授)より、天文の貴重なお話をお聞きすることができました。先生のおかげで分かりやすい説明に宇宙を垣間見ることができたように思い、これまで体験したことのないようなひと時でもありました。

懇親会では、上越産品のくじ引きも盛り上がり、丸ナスなどふるさとの味も彩りを添え、あちこちで話の輪が広がり、和やかな集まりとなりました。その勢いは二次会にまで続きました。



ふるさと応援室大谷室長



高原副会長



左から、祖父江副会長、小坂会長、祖父江先生、藤田さん、伊藤相談役、中川市長、鈴木理事、瀧澤さん



春日山節合唱・音頭をとる藤田さん、中島さん



勝間・上野さん

### 1. 上越の行事・話題

#### (1) 祈りの心象 柴田長俊展 開催中 令和6年6月23日(日)まで

日本画家で2022年に亡くなった当会元理事柴田長俊さんを回顧する展覧会「祈りの心象 柴田長俊展」が上越市本城町の小林古径記念美術館で開かれています。2章で展示する日本画やデザインしたステンドグラス作品を通し、生涯にわたる柴田さんの作品世界に触れることができます。

お問合せ先：小林古径記念美術館(高田城址公園内)

(午前9時～午後5時 休館日：月曜日及び祝日の翌日)

所在地：〒943-0835 新潟県上越市本城町7-1 TEL：025-523-8680



#### (2) 第45回高田城址公園観蓮会 2024年7月13日(土)～8月25日(日)

高田城址公園の外堀(19ヘクタール)をほぼ埋め尽くす蓮は、規模・美しさともに「東洋一」と称されています。種類は和蓮で、ほとんどが紅蓮ですが、部分的には白蓮も交じっています。ピンクと白の蓮が入り混じって咲く世界でも珍しい蓮花群です。

会場：高田城址公園 新潟県上越市本城町

観覧無料



交通アクセス (第1～8駐車場：530台) 駐車料・無料

●トキ鉄・妙高はなうまライン「高田駅」より徒歩で10分

●上信越自動車道「上越高田IC」より車で約10分 ●北陸自動車道「上越IC」より車で約15分

浴衣で観蓮会を楽しもう！

レンタル浴衣を着て、城下町高田を散策しませんか。

蓮根を使った御膳やスイーツがセットになったプランも予定されているそうです！

下記URLの上越観光Nabiさんよりお申し込み方法などをご覧ください。

[https://joetsukankonavi.jp/kanrenkai/event\\_yukata/](https://joetsukankonavi.jp/kanrenkai/event_yukata/)

お問合せ先：高田城址公園観蓮会実行委員会事務局(上越観光コンベンション協会内)

TEL：025-543-2777

## 上越のカフェ

### ◆ スイミー 古本と日本酒の店

高田世界館の近くが良いという立地で開店した「スイミー」。

オープンから3年を迎えました。雁木の街が良いと空き屋バンクなども探していましたが、賃貸サイトで見つけたそうです。

店主の川上さんは、未成年の頃は、地域の良さが分からなかったものの、大学で地域活性の勉強をしたこともあり、上越の良さが分かり、24歳で戻ってきました。

本町は飲屋街でないため、わざわざ来てくれるお客さんが多いそう。落ち着いた雰囲気が本町の良さであり、カフェとして、お子連れなど、様々な用途が入り混じっています。店内は、古本に囲まれて、くつろげる感じです。常連さんも出張の方も来店されるそう。日本酒の店ですが、お食事がありますので、飲まない方もウェルカムです。(小坂恵美 記)

上越市本町6丁目3-10

営業時間 水木金土 18:00～23:00 日 15:00～21:00 (不定休)

Instagram [https://www.instagram.com/swimmy\\_\\_\\_\\_/](https://www.instagram.com/swimmy____/)





第53回Jネット勉強会の際、参加会員に配布されました瀧澤康二さんのスポーツに関するレポートを掲載します。  
瀧澤さんは板倉出身、日本体育大学卒業後、ドイツへ留学、ドイツ体操競技選手権大会で2年連続(1967/68)個人総合優勝を果たしています。帰国後、母校(日体大)で教鞭をとる傍ら副学長、国際体操連盟副会長を歴任されています。(小坂庸雄 記)

## ◆「スポーツ」についての豆知識

瀧澤康二

### 1. スポーツ (SPORT)の語源

イギリス人がsportという言葉を使い始めたのは今から400年くらい前のことだ、といわれている。当時のイギリスでは多くの人々がいわゆる「賭博あそび」を楽しんでいたと伝えられている。賭け事は、あそびをよりおもしろくするための一つの手段でもある。

Q. そのようなsportがなぜ世界中に広がったのか？

A. 18世紀に入るとイギリスで産業革命が興り。この革命は人間の生活を一変させた。産業が機械化され、使用者と労働者の関係ができたことがその一つのきっかけになっている。つまり、使用者側(ブルジョア階級)の人たちが、野蛮なあそびから離脱し、自ら近代的なスポーツを考え、それを普及させたということだ。しかし、それは産業革命が興ってから100年も経ってからのことである。その人道的なスポーツは「近代スポーツ」と呼ばれ、世界中に広がった。

Q. ところで今は、イギリス生まれでない世界中の民族文化もスポーツと呼ばれているのはなぜか？

A. 例えば、ドイツ体操や日本の武道もそうだ！それは、「オリンピック運動」と「教育」の関係から身体運動すべてがスポーツという言葉に集約されるようになったということだ。それどころか、今や「するスポーツ」や「みるスポーツ」、「支えるスポーツ」などということばも一般化している。

Q. Sportの語源は？

A. 語源を知ることによって、そこで使われていることばの意味がよく理解できる。スポーツの語源は古代ローマ時代に遡るといわれている。ラテン語のデスポルターレ (desportare=「荷物を運ぶ」) が語源だといわれている。そのことばを後にフランス人がdisporterとして使っていたといわれている。そこでの意味は、「仕事から離れて戯れる」ということだ。イギリス人はそのことばの意味を継承しつつ、前置調(di)と後置調(er)を切り捨て、簡略化して使い始めたということだ。このようにみると、sportのsを切るとportになる。ポーターは荷物を運ぶ人、飛行場は、airport、運搬のことをトランスポートなどと今でも常用している。つまり、「動く」という意味でスポーツと運動は深く関係しているということだ。

Q. でも、「あそび」とどんな関係があるのだろうか？

A. それは、古代フランス人がdisporter(仕事から離れて戯れる)ということばを使っていたからだ。ちなみに、清貧の思想を重んじていた(いる)日本ではあそびをタブー視してきた。

### 2. 「体育」と「スポーツ」の関係

体育という日本語は、英語のPhysical Educationが、身体教育と訳され、その体と育という二文字を残して体育と呼ぶようになった。

このことばを最初に使った人は、イギリスの哲学者H.スペンサー(Herbert Spencer 1820-1903)である。彼は、教育って何だろうと真剣に考えた結果、それは「Intellectual, Moral, Physical」の三つの要素から成り立つと考え、「Education-Intellectual, Moral and Physical」という大論文を発表したのだ。それは1868年で、瞬く間に世界中に知れわたった。1880年に邦訳されてから日本でも教育の三育論(知育・徳育・体育)として学校で重宝されるようになった。

Q. スポーツはあそびで「体育は教育」だってこと？

A. 本来、教育は陶冶を意味している。つまり、「人をつくる」とか「人格形成」というような意味だ。だけど、日本語では教育を「教え育てる」という意味で捉えられており、「教える」ということが強調されてしまうので問題が起こる。問題は、最近まで「あそび」は「教育」の敵と考えていたことに起因する。オランダのホイジンガ(Johan Huizinga=1872-1945)が「遊び人間(Homo Ludens)」を著して以来、人生にあそびが如何に大切か、ということが世界中で認識された。しかし、長年「あそび」をタブー視してきた日本人にはなかなか理解できなかったということだ。そして、今、わが国でも「スポーツは文化である」ことが認識され、体育が死語になりつつある！

### 3. 今、概念としてのスポーツ(SPORT)は、**あそび**と**競争**の両者が内包していることで成立する

◇ 私たちが普段使っている「スポーツ」は、英語の sports (複数形)を意味している。

「**あそび(play)**」には、大きく次の三つの意味がある：

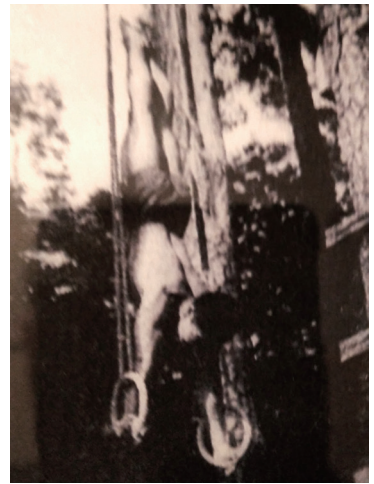
① じゃれる ② ゆとり ③ **非日常を体験する**

「**競争**」は、相手との競争の他、自己との競争(葛藤)も含まれる

◇ この場合の例：散歩、ジョギング、サイクリング、乗馬、etc.

ちなみに、テレビ観戦も今や立派なスポーツである。

倒立：ノールウエーベルゲン市での合宿練習 1966年夏 当時24歳 夜10時頃の白夜



#### ◆ スーパーシニア音楽団「楽悠」第12回定期演奏会《お礼》

4月発行の「たより」に告知されていた第12回定期演奏会が開催され、無事終了しました。Jネットからは6名の方々のご来場を頂きありがとうございました。

今回のプログラムは少しでも音楽に興味がある方や、特に吹奏楽経験者であれば知っている曲や思い出の曲があったはずです。

私は昭和41年に城北中学校で梅山郁雄先生から「音楽をしているといいことがあるよ!」と誘われて吹奏楽をはじめました。担当楽器はユーフォニアム(当時はバリトンと言っていた)。進学先は高田商業高校で音楽部へ。その後、上京して一般の会社で仕事をしながら夜はバンドで練習をしていました(本当はその後の飲み会が楽しい!!)。以来演奏団体が一つ増え二つ増えて行き、29歳の時に消防の音楽隊員になりました。そこで3年間演奏を続け、62歳で完全退職をしました。何も取り得のない私ですが、今は楽器の演奏が少しでも社会の役に立ったと思っています。

そろばんを楽器に持ち替えた感は否めないですがそれでも高校時代は私の人生に大きなインパクトがあったことも事実です。

話が少し変わりますが、このJネットの会員で高田商業高校卒業の皆さんと自己紹介を兼ねて、在校のころや卒業後の苦労話を伺える機会があっても良いかと思っています。(土田正栄 記)



♪たより / 掲載記事への感想ありがとうございます。



たよりを毎回興味深く読んでいます。私も自分の仕事の機関誌を発行していますが、参考になる事項多いです。(東京在住 Y M)

#### 俳句ひろば

雁木ある街に住まひて燕来る  
蜂飼の渡り来る日や椽の花  
老鶯となりていよいよ朗々と  
転がるは転がしておき梅稗る  
不揃ひの粽ほどけば母恋し  
リラ冷えといふに会ひしも蝦夷の旅  
皐月晴れ憩む雲無く昼の月  
蔦若葉耐震済みのビル覆い  
夏の日にペンキで小屋をマチス色  
踏切の音さえ消して驟雨かな  
紫陽花に鉢の狭さを詫び五年  
乏硯

饒村楓石

### ◆ ふるさと上越ネットワークのホームページをご覧ください

上越市の四季の写真他、掲載は多様です。ぜひとも、「ふるさと上越ネットワーク」を検索し、ご覧ください。スマートフォンからは、右のQRコードからご覧いただけます



### 上越タイムズ電子版、上越ケーブルビジョンへのアクセス方法(会員のみ)

#### ◆ Jネット会員は、無料でご覧いただけます。

- ① HP右肩「Jネット会員メニュー」をクリック
- ② 「ログインはこちら」をクリックし各社のHPへ
- ③ 下記のメールアドレス・パスワードにてログインしてください。

**瀧川鯉橋師匠 高座予定** 鯉橋：090-4730-9032 rik\_yoh\_taki@taupe.plala.or.jp (鯉橋メール)

#### ◇7/6(土)～10(水)

池袋演芸場・夜の部＝鯉橋主任興行＝

時 間：午後5時～8時半 木戸銭：2,800円  
(65才以上2,300円など各種割引あり)

主 任：鯉橋 ほかに鯉昇、坂本頼光(活弁)など出演  
お問合せ：03-3971-4545(池袋演芸場)

#### ◇7/7(日) 梶原いろは亭・日曜寄席

時 間：午後1時～3時ごろ 木戸銭：2,500円

出 演：鯉橋ほか

会 場：いろは亭(北区上中里3丁目1-4)

お問合せ：070-3318-5397

#### ◇7/12(金)

七人の侍～流浪の落語勉強会～(8/28、9/17も)

時 間：午後1時～3時半ごろ 木戸銭：1,500円

出 演：鯉朝、枝太郎、楽生、鯉橋、鳳志、藍馬

会 場：お江戸両国亭(両国4-30-4)

お問合せ：090-6520-9252(鳳志)

#### ◇8/4(日) 鯉橋の落語でひとやすみ(第45回)

時 間：午後4時～5時半

木戸銭：1,500円

出 演：鯉橋(二席)、アマチュア前座さんの出演あり

会 場：喫茶「ひとやすみボン」(板橋区若木2丁目、環八沿い)

お問合せ：080-5544-9241(オビ)

#### ◇9/23(月・祝) グリーンホール八起寄席

時 間：午後2時～4時

木戸銭：2,000円(予約・1,700円)、

65才以上1,500円(予約・1,200円)

出 演：遊子、鯉橋、頼光、談之助(以上出演順)

会 場：グリーンホール相模女子大学(相模大野)

お問合せ：042-749-2200(グリーンホール)

☆ブログ『～七転び八起の末のホンダラダ～』

<https://blog.goo.ne.jp/rikyoh3194> もぜひご覧ください。

鯉橋拝

## 上越産品販売のお知らせ

### ● Jネットふるさと市場「取次販売商品一覧」

会員は送料無料で取り寄せができますので、どうぞご利用ください。

現行の各社パンフに加えて、取次販売商品一覧(A4版1枚)を同封にてお届けします。

### ● 上越特産市場 JCCソフト株式会社運営による、上越農林水産物・特産品のネットショッピングモール「上越特産市場」です。「上越特産市場」でネット検索いただき、お申込み下さい。

### ● 常設店舗「雪国商店」(有楽町駅から約3分)

場 所：有楽町交通会館1階

営業時間：11:00～19:00

年中無休(年末年始は休業)

### ● 新潟・上越妙高「うまさ直送!雪国マルシェ」

日 時：6月15日(土)・16日(日) 29日(土)・30日(日)  
7月13日(土)・14日(日) 27日(土)・28日(日)

会 場：有楽町交通会館1階 ピロティ

時 間：11:30～17:30

角打ちも楽しめる「雪国商店」がJR新潟駅、駅ビルの商業施設「CoCoLo新潟」に5/29(土)オープンしました。

「雪国商店」または下記のURLよりご覧ください。

<https://yukiguni.shop/>

「雪国商店」&「雪国マルシェ」お問合せ先  
JCJ東京情報センター TEL:03-5218-7730



## 上越市からのお知らせ

### ◆ ふるさと応援室のご紹介

こんにちは！今年度からふるさと上越ネットワークの本庁担当となりました上越市役所総合政策課ふるさと応援室です。

ふるさと応援室は、首都圏における魅力発信や企業・団体とのネットワークの強化、そして、ふるさと納税の取組をより一層強化するために設置された新しい部署です。

今年度は、銀座にリニューアルオープンする新潟県のアンテナショップ「銀座・新潟情報館 THE NIIGATA」など、首都圏を会場にしたイベントを複数回予定しております。順次、たより等を通じてご案内させていただきますので、その際はぜひ遊びに来てください！

ふるさと納税についても、市内事業者と連携し、魅力的な返礼品の開発を進めてまいりますのでご期待ください！

今年度の目標寄附額は5億円（前年度は約2億円）です！皆様からもお力添えいただけましたら幸いです。

どうぞよろしくお願いいたします。

総合政策課 ふるさと応援室

TEL：（025-520-5625）



ふるさと応援室メンバー  
（左から上田主任、大谷室長、吉村係長、板垣主事）

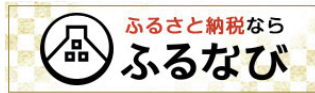
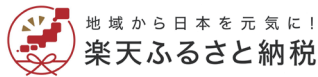
### ◆ ふるさと上越への応援をお願いします

～下記のポータルサイトに、上越市のお礼の品を掲載しています。



**au PAY ふるさと納税**

※ふるさとチョイスと一部返礼品の連携をしています。



・左のQRコードからふるさと納税9ポータルサイトの情報をご覧ください。

※紙力タログのご用意もあります。

ふるさと応援室（TEL：025-520-5625）までお気軽にお問合せください。

### ●●● Jネットからのお知らせとお願い ●●●

会員の皆様には、ご自分の思い出やご経験、上越の魅力、上越に役立ちそうなこと、会員の親睦を深めることなどなんでも結構ですので、記事（1200字程度まで）と写真を送信いただければ幸いです。

投句もお待ちしています。

さらに、たよりについての感想、記事や俳句の感想をお寄せ頂ければ、寄稿や投句された会員の励みになります。こちらもお待ちしています。

（いただいた感想は、会員ひろばに掲載いたします。）

Mail 送信先 事務局：k.miyazato@araipr.co.jp

### 令和6年度 定時総会スナップ



左から、中島さん、浜野さん、野田さん、朝倉さん、溝口さん、新山さん、古川さん、長谷川さん

◎次号「たより」は令和6年7月25日の発行です。